

肺臓の病気(Ⅲ)

今回は胸部の病気で肺臓以外のお話です。肺臓は頻繁に行われる呼吸運動に対して動き易くするために表面を膜が覆っています。昔は肋膜、今では胸膜と呼ばれます。肺臓に接する部分と皮膚側と二枚の膜により構成されており、間に僅かですが水分があります。この胸膜に病気が起こります。

細菌感染により胸膜に炎症が起こると炎症性産物と共に水分の蓄積が起こります。胸水です。少量では問題有りませんが、大量になると呼吸困難を起こします。肺臓自体に何らかの慢性の炎症を有する場合には強度の呼吸苦を生じ、酸素などの投与が必要となります。入院して抗生物質などの治療が必要となりますが、最近では減少しています。



東陽病院院長
伊藤 文憲

結核菌感染では慢性の炎症となり、胸膜の癒着や石灰沈着などを伴い、治療に難渋します。長期の入院治療が必要になります。

全身の栄養障害により血液の中の蛋白質が減少すると水分が胸膜の中にしみ出てきます。大量になると呼吸困難を起こします。心臓が弱つてくると胸膜の中に水分が蓄積してきます。強心剤、利尿剤などにより心臓自体の力を回復する治療が必要です。

他臓器の悪性腫瘍が胸膜に転移するとそこで腫瘍の増大に伴い水分が貯まります。抗がん剤の治療に加えて、局所の治療が必要となります。外部から癒着性の物質を注入して、胸膜を癒着させて水分が貯まらないようにする治療法です。

胸膜は解剖学的には中皮由来の臓器です。ちなみに、上皮とは皮膚や消化管の粘膜、呼吸器の粘膜などの外界に接する部分です。内皮とは体を支える臓器や血管、筋肉など

です。ここに生じる悪性腫瘍は胸膜中皮腫です。稀な疾患でしたが、最近では石綿・アスベストによる発ガンが多数報告されています。

自然気胸とは肺臓側の胸膜に先天性の嚢胞などの弱い部分が破れて空気が胸膜の中に流れ込む病気です。その為に肺臓を圧迫して呼吸困難を起こします。交通事故などの外傷による気胸もあります。大半は嚢胞が内圧の亢進によって破れる自然気胸です。左右同時に起きることがあり、強度の呼吸困難を起こすために緊急の治療が必要となります。外から排気用の管を入れて、吸引排気が必要です。この治療だけで完治することもありますが、繰り返す場合には根治術が必要です。外科的に弱くなった胸膜を見つけて縫いつける手術です。以前は開胸手術が主でしたが、最近では胸腔鏡を用いた低侵襲手術が多くの施設で行われています。

胸郭の中には胸腺という組織があります。小さな臓器ですが、腫瘍性の増大を示すと重症筋無力症という難病の原因になることがあり、外科的切除が必要です。

東陽病院
☎ 0475-1335

平成18年度の主な健康相談業務

事業名	実施日	受付時間
水質検査【予約制】	月2回	9:30~10:30
腸内細菌検査	毎週火曜日 ただし、5月2日(火)、 11月21日(火)、 12月26日(火)、 3月20日(火)は検査なし	9:00~11:00
未熟児等健康相談【予約制】	月1回	13:00~14:00
療育相談【予約制】		
親と子の心の相談【予約制】	第3木曜日	13:30~14:30
精神保健福祉相談【予約制】 (心の健康相談)	第1・3水曜日 (ただし4・5月は 第1~4水曜日)	14:00~15:30

*日程は変更になる場合があります。

※問い合わせ

山武健康福祉センター (山武保健所)
☎0475-54-0611

山武地域医療センター中央病院が 開設許可されました

■開設許可の主な内容

- ◇名称 (仮称) 山武地域医療センター中央病院
- ◇場所 東金市丘山台3丁目7番1及び2
- ◇診療科 23科(内科、呼吸器科、消化器科、小児科、外科、整形外科、産婦人科ほか)
- ◇病床数 450床
- ◇開設予定年月日 平成23年12月1日
- ◇お問い合わせ 山武郡市広域行政組合 医療センター整備室

☎0475(50)0661